

Contents

❖ 広島大学との更なる連携強化を期待する	1
❖ 活動報告(3～4月)	2
❖ ヒューマンモデリング国際ワークショップ開催報告	2
❖ 産学連携商品紹介	3
❖ 産学連携研究・研究会助成**会員企業ニーズ募集	3
❖ これからの活動(イベント)情報	4
❖ コーディネーター紹介	4
❖ 編集後記	4



広島大学との更なる連携強化を期待する

公益財団法人 ちゅうごく産業創造センター
専務理事 中野直文



(公財)ちゅうごく産業創造センターは、中国地域の産業の活性化、地域の振興のためのプロデュース機関として活動しており、産学金官の連携により新事業・新産業創出を目指しています。

広島大学とは様々な事業で連携していますが、大学のシーズを企業と一緒に進める新産業創出研究会では、多数応募していただいています。産創センターが発足した平成18年度から26年度の9年間で採択された件数は24件(全数136件)で2割近くを占め、中国地域の大学で最多となっています。また、研究会終了後広島大学のシーズで事業化したものが5件、事業化予定のものが2件あり、売り上げを大きく伸ばしているものもあり、着実に成果をあげています。

また、大学のシーズや企業のニーズの情報提供やネットワークづくりのための研究交流会、事業化検討会に広島大学から多くのシーズを紹介していただき、事業化を目指すプロジェクトへ展開をしています。さらに、産創センターでは、感性工学を活用した新しい製品の開発、ビジネスの実現に向けた中国地域質感色感研究会を主催していますが、広島大学がJST、文部科学省から受託されたCOI感性イノベーション拠点、中国経済産業局、広島県などとも連携して感性ネットワークが更に広がっていくことを期待しています。

広島大学からは産創センターの評議員のほか、プロジェクト調査の委員長や副委員長、各種委員会の委員長や委員などに就任していただいています。今後様々な事業において更に連携を強めることにより、中国地域の産業の活性化、地域の振興に一層貢献していくことを目指しています。



Report 1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

第32回(3月10日)の講師は、前回に引き続き工学研究院の菅田淳教授。「低サイクル疲労ならびに変動荷重下の寿命推定法」と題して研修を行いました。塑性変形を伴う繰返し荷重下の疲労損傷について概説するとともに、実機に作用する変動荷重下における疲労寿命の推定法について解説を行いました。



イノベーション研修 32回

第33回(4月21日)からの講師は、工学研究院の永村和照教授。歯車は種々の機械装置に使用され、その強度設計は重要で、歯車装置を故障なく安全に使用するために実施されます。

本研修では、まず歯車に発生する種々の損傷について概説し、つぎに、長年の経験を基にして確立された強度の計算法〔曲げ強度、歯面(面圧)強度、スコアリング強度の各計算法〕について解説を行いました。(K.H)



イノベーション研修 33回

Report 2 第11回研究紹介と交流のゆうべ 開催報告

平成26年3月5日(水)17:30より、府中商工会議所(広島県府中市)にて「第11回研究紹介と交流のゆうべ」を開催致しました。

地元中小企業の皆様へ大学の普段の活動をご紹介することを目的に開催する本会ですが、今回は会場を広島県府中市に移して、「機械加工のトラブルとその周辺技術」というテーマで、工学研究院の關谷克彦助教に講演をして頂き、その後關谷先生も交えて交流会を行いました。

21名の参加者の皆様には、講演を熱心にご清聴して頂き、第2部の交流会では非常に活発な交流を行って頂きました。

第一部の研究紹介では、現場でよくあるトラブルについての対処方法についての説明や切削についての最新の研究の紹介等があり、少しでも大学が身近に感じて頂ける機会になったのではないかと思います。

今回の開催に関しましては、府中商工会議所様に後援を頂き開催することが出来ましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後の開催に関しましては、広島県内各地域にお伺いさせて頂いて開催をさせて頂くことを考えていますので、お近くの開催の際には是非ご参加して頂ければ幸いです。(F.O)



ヒューマンモデリング国際ワークショップ開催報告

平成26年3月20日(木)9:20より、メルパルク広島にて、表記ワークショップを開催致しました。

コンピュータ上で人間の身体・行動を再現する事により製品設計や生産設備の設計に役立てる事は知られておりますが、本ワークショップではその最先端の研究者を海外から招き、動向の共有と更なる発展の方向性を議論致しました。紹介された事例は、医療、スポーツ、リハビリ、操作性最適化から、エンタテインメントロボットに生き物の様な豊かな振る舞いを与える事まで多岐に渡りました。またパネルディスカッションでは大学研究者、ものづくり企業、情報通信企業、病院、産業振興団体など計62名の幅広い参加者と活発な議論が実行出来、正に「ワークショップ」という一体感のある場とすることが出来ました。

【発表者・パネリスト】

- ◆ジョージア工科大学 上田 淳氏
- ◆ジョージア工科大学 篠原 稔氏
- ◆産総研 多田充徳氏
- ◆ディズニーリサーチ 山根 克氏
- ◆シーメンス Sven Hermann氏
- ◆マツダ株式会社 西川一男氏
- ◆広島大学 栗田雄一氏

(K.A)



このページでは、企業と広島大学との共同研究の結果、商品化につながったものを紹介して参ります。

産学連携商品紹介

慢性疾患重症化予防プログラム

健康管理

健康は個人の財産であり、家族の財産であり、社会の財産。「病気はあっても普通に生活し、健康で長生きしたい、でも何をしたらもっとよくなるのかわからない」そんな思いに応えるために「慢性疾患重症化予防プログラム」は開発されました。専門教育を受けた保健師・看護師が、面談と電話支援を行い一定期間継続して健康支援を行います。

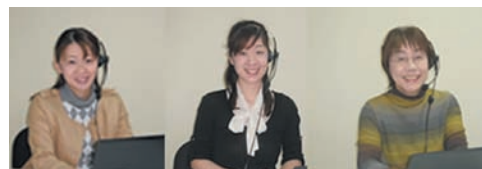


広島大学で開発されたプログラムテキスト

糖尿病性腎症の患者さんを対象に料理教室



エネルギー…574 kcal
たんぱく質…12.6g
(良質のたんぱく質= 72%)
塩分…1.9g



商品情報

- ・健康指導を行う保健師、看護師
- ・糖尿病や腎症の進行を抑え、明るく活動的な生活をおくるためのプログラム（テキスト）
- ・自己管理手帳

関係機関・研究者

広島大学（森山美知子教授）

問い合わせ

株式会社 DPP ヘルスパートナーズ

TEL：082-263-8874

FAX：082-258-2166

E-mail：info@dpphp.jp

URL：http://dpphp.jp

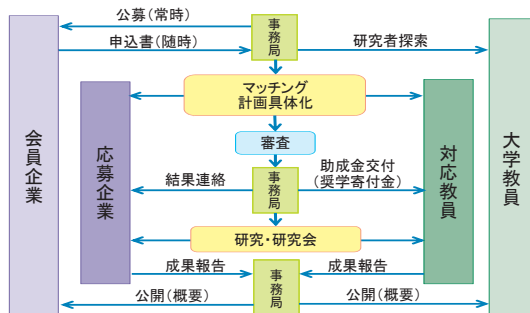
産学連携研究・研究会助成**会員企業ニーズ募集

— ふるってご応募ください。 —

助成内容 1件あたり30万円、年間10件を上限として助成を行います。助成金は広島大学の研究代表者に交付し、研究あるいは研究会活動に活用されます。

応募条件 会員企業からのニーズに基づき広島大学の教職員が研究を行う、あるいは会員企業と研究会活動を行うものであり、1年以内の期間で、一定のまとまりを有する成果が期待されること

研究助成全体の流れ



①企業秘密の保持

- ・応募情報は関係者外秘とする
- ・学内公募は学内限定ウェブで概要のみ公開とします
- ・採択決定後は守秘条項を含む契約を締結します
- ・成果概要公開の内容は当事者協議により決定します

②応募ニーズと大学教員とのマッチングは大学の産学連携コーディネーターが支援します。

③協力会会員への透明性

- ・審査委員会のメンバーには活動評価委員会の委員を含めます
- ・成果概要を会員に公開します（テーマ名、製品分野、技術分野、主要成果等）

会員企業ニーズ募集

- ・募集期間：随時受け付けます。（計画案件採択後締め切り）
- ・応募書類：所定の申請書に必要事項を記入の上、提出ください。
- ・申請書はこちら→ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/14/kyouryoku/jyoseimou.pdf>

審査及び採択

・学内教員とのマッチングが成立後、書類審査により助成対象を選定します。なお、場合によって、面接（申請者によるプレゼン）等をお願いする場合があります。

応募書類提出先

広島大学 社会連携グループ 宮本

TEL：082-424-5871

FAX：082-424-6189

E-mail：syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

本事業内容お問合せ

広島大学 産学・地域連携センター国際・産学連携部門

TEL：082-424-4302(代)

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協力会の今後の活動予定をお知らせいたします。
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

5月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第34回) 「歯車の省エネルギーとトライボロジー」

日時 5月12日(月) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 工学研究院 永村 和照 教授

6月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第35回) 「構造最適設計の基礎」

日時 6月9日(月) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 工学研究院 竹澤 晃弘 准教授

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/>

産学官連携推進研究協力会についての入会方法および活動情報の URL は
<http://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/> をご参照ください。

❑ コーディネーター紹介 no.10

企業の皆様からのご相談に対応する、産学官連携コーディネーターを紹介致します。第10回は平田和久氏。



平田 和久 Kazuhisa Hirata

担当業務：技術相談、教員紹介、共同研究受入れ、
公的資金応募相談

技術分野：地元中小企業の相談に幅広く対応し
たいと考えております。

職歴等：官公庁より出向

TEL：082-424-4304

E-mail: kzhirata@hiroshima-u.ac.jp

ひとこと：

地元企業をはじめ関係機関の方々との連携役を果たし、
地域の発展にひとつでも貢献できるように、頑張ってま
いりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

故郷である広島を離れ、愛媛県松山市で5年間生活していました。当初は右も左も分からず戸惑いばかりでしたが、暖かい気候と人々に囲まれ、充実した5年間だったと思います。この4月からは、ここ西条で新生活を始めます。学生時代を過ごした場所であり、懐かしい気持ちですが、街自体は大きく変わっていると感じました。私自身も、街同様に大きく成長出来るよう頑張ってお参ります。今後とも、本誌「つながる」をどうぞよろしくお願い致します。(T.N)



発行：産学官連携推進研究協力会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL：082-424-6031 / FAX：082-424-6189 / E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先：広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL：082-424-4302 / E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp